



自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

平成25年(2013年)
6月5日
水曜日
第114号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_selsaku@pref.shizuoka.lg.jp

実効性の高いマニュアルで、さらなる充実を！ いじめ対応マニュアル

「静岡県の学校からいじめをなくす提言」を受けて

昨年度、全国でいじめが関わっていると思われる自殺事例が多く報告される中、静岡県・市町教育委員会代表者会は、いじめをなくす取組を、オール静岡で推進していくことを確認しました。

そして、平成24年9月27日「静岡県の学校からいじめをなくす提言」がなされ、各学校や各市町教育委員会、県教育委員会では、現在、次の4点に取り組んでいます。

1 学校は、子ども自らがいじめについて考える場や機会を大切にします

2 学校は、家庭・地域と連携して子どもの命を守ります

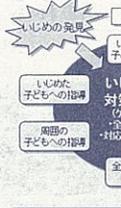
3 教育委員会は、「いじめ対応マニュアル」を作成します

4 教育委員会は、教職員に対する研修を充実します



提言3を受けて作成した「静岡県いじめ対応マニュアル」は、次の3つの内容で構成されています。○いじめの未然防止 ○早期発見・早期解決 ○関係機関等との連携

そして、より実効性の高いマニュアルとして活用するために、各学



校で、子ども自らがいじめについて考えた内容等を加え、マニュアルのタイトルに学校名を入れるなど、それぞれの学校や市町教育委員会ならではの「いじめ対応マニュアル」の活用を期待しています。

さらに、巻末にはいじめの対応に関する具体的な資料を添

用することを意図し、各学校や教育委員会が、それぞれの実態に応じて、本マニュアルの内容に資料等を付け加えることができるように、いじめ対応の基本的な事柄をまとめました。

それぞれの項において、ポイントとなる事柄を示すとともに、本文の内容を簡潔に表現するよう配慮しましたので、具体的な対応を付け加えたり、事例を差し込んだりする

また、「人間関係づくりプログラム」を活用するための資料も掲載しました。よりよい人間関係づくりによっていじめが起きにくい学級を築けたら、子ども一人一人の学級への満足度なども

いじめは、どのような理由があっても決して許されない行為です。いじめをなくすためには、子どもが健やかに育つための環境づくりが重要です。

関係機関等と連携しながら、静岡県の学校からいじめをなくす取組に本マニュアルを役立て、今後も、継続的、計画的な組織としての取組が一層充実していくことを期待しています。

「静岡県いじめ対応マニュアル」は当課ホームページに掲載してあります。【学校教育課小中学校教育室】

リニューアル 「ふじのくに(アイ)マップ2013」

○i(アイ)マップとは
ニート・ひきこもり・不登校など、支援を必要とする子ども・若者やその家族の方々に対して、民間支援団体と公的支援機関を紹介したものです。



今回、2011年度版のものに情報を追加し、リニューアルしました。様々な理由で不登校となり居場所を見つけれない児童生徒、高校には進学したものの中途退学や次の進路が決まらないまま卒業する生徒、就職後、職場に适应できず離職し、ひきこもってしまう若者がいます。どこに相談していいかわからず不安な状況の本人やその家族に情報を提供し、支援団体や支援機関へつなぐきっかけづくりになればと考えています。

○リーフレットでは
民間支援団体には、フリースクールやサポート校、通信制高校、高等専修学校や就労支援団体などを掲載しています。ニート・ひきこもり・不登校・発達障害・学習支援・外国人への支援など、支援内容を団体ごとに明示しました。公的支援機関も掲載しています。ここでは、電話相談や訪問支援など、専門性の高い職員が対応します。就労支援やひきこもりの相談、非行やその被害などについても相談に応じます。それぞれの悩みに応じて、本人が自分にあった支援団体を選ぶことができます。

○配布について
主な配布先は、学校をはじめ、福祉、保健、医療、雇用機関等です。4月より配布を始め皆様にお届けします。ホームページからもダウンロードできます。
【ふじのくに アイマップ】
【検索】
【問い合わせ】 社会教育課 054(221)3160

県内全域をカバー
本年度は、三島、沼津

少年の非行防止等の専門的な知識・経験のある警察官OBで構成されており、学校を訪問し、校内巡回活動、教員との情報交換、児童生徒の問題行動への対応など、学校と警察の橋渡し役として活動しています。

相談受理をきっかけに
スクールサポーターが担当地区の中学校から「いじめ」に関する相談を受け、いじめのことをきっかけに問題解決を図られた事例があります。



【問合せ先】
静岡県警察本部少年課
各地区少年サポートセンター
0120(7)83410
この腕章を付けています

教員の生徒指導等を支援します スクールサポーター制度

富士、富士宮、清水、静岡ともに、非行防止教室を開催し、児童生徒の規範意識の再構築を図りました。焼津、島田、牧之原、菊川、掛川、袋井、磐田、浜松中央、浜松東及び浜北警察署の18警察署に19人のスクールサポーターを配置しています。配置のない警察署管内については、ブロック運用で県内全域をカバーしています。



学校でのスクールサポーターによる講演

早期に警察に相談を
警察というと捜査のイメージが強く、なかなか校内の問題を相談しづらいといったイメージがあるかも知れません。しかし、警察には、少年サポートセンターのように少年相談を専門に取り扱う部署があります。学校内で発生するいじめや問題行動の対応に必要なのは児童生徒の安全安心の確保ということではないのでしょうか。

スクールサポーターの活用を
今後ともスクールサポーター制度を充実することで、教員の皆様をサポートしていければと考えております。

警察が取り扱う非行少年の検挙件数等は減少傾向にあります。最近では、学校内における問題行動やいじめ、虐待等が社会問題として取り上げられるなど、学校に求められる役割は日々増えているのではないのでしょうか。そのような状況においては、児童生徒に問題行動の兆しが表れた段階でそれらの子どもたちに手を差し伸べるのがスクールサポーター制度です。

What is 社会教育主事?

社会教育において資格を持った専門的な職員がいます。よく知られているのが、図書館の「司書」、博物館の「学芸員」ですが、もう一つ、社会教育における「指導者」として「社会教育主事」という職員がいます。

社会教育主事の職務

社会教育法第9条の3に「社会教育を行う者に専門的技術的な助言と指導を与える。ただし、命令及び監督をしてはならない」また、「学校が社会教育関係団体、地域住民その他の関係者の協力を得て教育活動を行う場合には、その求めに応じ

て、必要な助言を行うことができる」と規定されています。

22日〜2月28日
会場 東京都内(サテライト会場として静岡会場を設け予定)
○三重大学講習
期間 7月22日
8月22日
会場 三重大学

大学において必要単位を修得する。または、社会教育主事講習を受講修了し、実務経験等を積むことにより、社会教育主事となる資格を有することになります。

教員や行政職員だけでなく、社会教育に係わる方、社会教育に関心のある方も受講できます。この機会に社会教育について学んでみませんか。受講資格 応募等の詳細はお問い合わせください。

社会教育主事講習(A) 期間 7月24日〜8月28日
会場 東京都内 平川雅博
社会教育主事講習(B) 期間 平成26年1月

関社会教育課総務企画班
054(221)3163
054(221)3362

郷土を愛する子どもを育てる

松崎町教育委員会 教育長 藤池 清信



筆者(国の重要文化財「岩科学校にて」)

聖祭が催されます。この祭では、顕著な活動のある「賀茂郡内の児童、生徒や団体の表彰があります。

三聖祭とは、幕末の教育者で、郷塾「三余塾」を開いた土屋三余と塾生依田勉三、依田勉三の遺徳を顕彰する祭です。塾生は東北から九州まで、延べ700人に及んだと言われています。

依田佐二平は、教育に力を注ぎ、明治4年に郷塾「謹申学舎」を開き、塾頭に元会津藩家老西

郷土の先覚者たち

松崎町の人口は、7700人余、県内で一番少ない町です。毎年4月第1日曜日に道の駅「三聖苑」で、三

塾頭に元会津藩家老西

に、必要の助言を行うことができる」と規定されています。

今に残る教育風土



漆喰にて絵の殿堂「伊豆の長八美術館」

過疎化と高齢化の進む町ですが、地域の教育風土は今も健在です。

旧三浦小学校地区には、子供や地域の発展を願う「三浦同志会」は今も活動をしています。

旧岩科小学校地区には、明治13年村の総力を結集して建てた、国の重要文化財「岩科学校」は、その精神を「岩科起て!」として今に伝えています。

旧中川小学校地区は、三余塾発祥の地であり、幕末の松崎教育揺籃の地ともいえます。

三浦小学校は平成19年の閉校、平成22年には中川小学校が閉校し、松崎小学校1校となりました。

この郷土の先覚者たちの偉業をどのように伝え、残していくかが、大きな課題です。

3年生は、総合学習の「発見!松崎のじまん」の中で、三聖を学びます。

6年生は、「わが町の歴史」の中で、「郷土の先覚者たち」や伝統文化を学び、やがて中学生で

は、伝統芸能の継承へつなげていきます。

児童、生徒数は減少の一途をたどっていますが、郷土を愛し、理解し、この土地に生まれたことを誇りに思い、先人のように、さまざまな分野に雄飛することを期待しています。

今年も好評をいただいた通学合宿。既に50件以上の問い合わせがありました。

県は、実施に要する経費の一部を補助しています。なお、補助金の一部は、静岡県遊技業協同組合からの寄附金を充てています。現在、申請を

検討ください。是非、御初めて実施する方々に

県では、初めて通学合宿を実施する方を支援す

るため、事例集を始めとした各種マニュアルを御用意しています。また、担当者が説明に伺うこともできます。

また、継続して実施している団体等の事例発表が聞ける研修会を、2会場で開催します。会では、情報交換をする時間もあり、経験豊富な先輩からアドバイスをいただける予定です。御参加をお待ちしています。

通学合宿

申請受付中!

参加者に記念品を差し上げます

「合宿をがんばった子どもたちに何か記念品を」という声にお応えして、賞状が印刷されたクリアファイルと参加記念のボールペンを御用意しました。申込方法はホームページで確認してください。

参加者に記念品を差し上げます

記念品も好評です

御存知ですか?環境教育に役立つ情報パンフレット「子どもが夢中になって取り組みます!環境学習!」

「環境」や「自然」をテーマにした教科学習や総合的な学習の時間をお手伝い

県では、教職員や環境学習指導員への環境教育に関する情報提供の充実を図るため、授業などで活用できる情報をまとめたパンフレットを、毎年、県内全ての各学校・幼稚園等に配布しています。

- 無料で行うことができる相談窓口、器材の貸出、講師派遣などの情報を掲載しています
- ◇「環境学習コーディネーター」による無料相談
- ◇授業や教員研修会に講師を無料派遣
- ◇環境に関する各種教材、器材の無料貸出や、副読本の提供
- ◇学校単位・クラス単位でのエコ活動を応援するツール
- ◇環境に関する作文やポスター作品募集

2013年度版を6月下旬に発行
各学校・幼稚園等に配布します。なお、県の環境学習に関するホームページ「環境学習データバンク」から、ダウンロードできます。なお、残部があれば、個人配布もしますので、お気軽にお問い合わせください。
問 環境ふれあい課 054(221)2919



[2012年度版パンフレット]

いつ考古学に触れるの?今でしょ!! 考古学セミナー受講者募集

県埋蔵文化財センター職員が静岡県の歴史を様々な切り口で語る「考古学セミナー」を開講します。全5回のシリーズを予定しています。皆様の御参加をお待ちしています。

<第1回セミナー開催概要>

- ◇日時 平成25年6月24日(月)午後2時から1~2時間程度
- ◇場所 静岡県教育会館(静岡市葵区駿府町1-12)
- ◇内容 「最新情報からさぐる静岡の旧石器時代」
- ◇定員 30名(先着順、受講料無料)
- ◇申込み 郵便、Eメール、FAX、電話にて。全5回セットでの申込みになります。

※今年度は、このセミナーのほか、出土文化財保存処理技術体験(7月、8月)、発掘調査体験(9月)を予定しています。詳細はお問い合わせください。

問 県埋蔵文化財センター 054(262)4261 054(262)4266
Eメール maibun_tyosa@pref.shizuoka.lg.jp



放送大学 10月生募集のお知らせ

放送大学では平成25年度第2学期(10月入学)の学生を募集中です。放送大学はテレビ等の放送やインターネットを利用して授業を行う通信制の大学です。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で幅広い世代、職業の方が学んでいます。資料を無料で送付します。お気軽にお問い合わせください。
◇出願期間 8月31日まで 問 放送大学静岡学習センター 055(989)1253

